

発刊のことば

「日本血管外科学会 Newsletter」 創刊にあたって

日本血管外科学会理事長
宮田 哲郎



日本血管外科学会会員の皆様におかれましては、平素より本会の諸活動において、多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度日本血管外科学会では、昨年10月から機関誌「日本血管外科学会雑誌」の出版形態をオンラインジャーナルのみとし、紙媒体に伴う印刷費用や郵送費を削減し、その費用を他の学会活動に振り分けて有効活用する試みを開始しました。ただし、オンラインジャーナルのみとなった場合、これまでこの機関誌が果たしてきた重要な役割である会員への情報伝達が不十分になることが危惧されます。そこで、オンラインジャーナル化と並行して、学会から会員への情報伝達手段である Newsletter を創刊することにしました。

会員へ向けた学会からの重要なお知らせ、学術総会日より、教育セミナーや各種ワークショップに関する事、専門医制度に関する事、NCD のこと、医療安全のこと、血管外科関連の診療報酬改訂のこと、関連学会の動向、会員から寄せられた意見など、ホームページ情報のみならず、ホームページには掲載しきれない情報を、年2回発刊される読みやすく工夫された誌面の Newsletter を通じて会員へお届けする予定です。

この Newsletter が会員諸氏にとって有益なものとなることを切に願っております。Newsletter に関する詳細な企画を立案して下さった広報委員会の先生方に改めて感謝致します。今後も引き続き会員の皆様の格段のご協力をお願い申し上げます。

委員会からのお知らせ

重要な保険改訂解説

外保連委員長 種本 和雄

平成28年度保険改訂で日本血管外科学会から要望した項目は以下の通りで、概ね我々の要求通り認められました。まず、膝下膝窩動脈へのバイパスはK614-6, 42500点として新設が認められました。TEVARの時に同時に行う頸部分枝へのバイパスなども「複数手術に係る費用の特例」の組み合わせに認められ、同一術野であっても片方を50%算定できることになりました。また、EVAR時の塞栓術は、EVARと一連であり別途算定できないとされましたが、別入院で行うことの医学的必要性が説明できれば別途算定できることとなっています。

総会報告

第44回日本血管外科学会学術総会を終えて

会長 埼玉医科大学総合医療センター血管外科 佐藤 紀

2016年5月25日から27日の3日間にわたり東京お台場のホテル・グランパシフィック LE DAIBA にて第44回日本血管外科学会学術総会を開催いたしました。私どもの病院の近隣には予定会場数を収容する事のできる施設がございませんでしたので、お台場を会場に選ばせていただきました。普段いる田園風景とは打って変わって、いかにも都会風の環境で、私などは少々気後れいたしました。都心から少し離れていることもあり多くの皆様に来ていただけるかと懸念しておりましたが、最終的には2000人を越える方々のご参加を頂くことができ、これも会員の皆様のひとかたならぬご協力によるものと感謝しております。

今回の学術総会におきましてはいくつかの新しい試みがございました。まずは血管外科学会雑誌の電子化に伴い、従来の様な冊子体による抄録集の発行を取りやめ、ネット経由の電子抄録集としたことであります。これに伴い、タブレットやスマートフォン向けの抄録検索アプリを開発し、会場では無料のWi-Fi環境を構築いたしました。冊子体の廃止に関してはご不満の声もあろうかと懸念しておりましたが、「重くて厚い抄録集を持ち歩かなくてもよいので楽だ」との好意的なご意見が多かったことはありがたいことでした。

もう一つの新しい試みはツイッターの導入です。学会場のディスカッションでは時間の制約のため、一題の演題につき二、三人のご質問を頂くのが精一杯ですが、今年のシカゴのSVSでも導入されていたツイッターにより、口演の途中でもお聞きになっている先生方が考えたことをすぐに投稿していただき、これらの中から座長の先生に適当なものを取捨して取り上げてもらえることができるのではないかと考えました。初めての企画であることから試みに第3会場のみで行ってみました。面白いご意見の投稿などもありましたが、取り上げるご意見の選択に困るほどの数のツイートはありませんでした。しかし、双方向性を高める意味では有効という感触を得ましたし、慣れていただければ投稿数も増え、匿名でも投稿できることから忌憚の無い意見も増えるのではないかと思いますので、次回以降の会長の先生方にも、是非採用のご検討を願えたらと考えております。

最後にご参加いただいた皆様に重ねてお礼を申し上げるとともに、血管外科のアイデンティティが国民の間に更に広く知られるようになり、発展していくことを願ってやみません。



会長講演の様子

ご挨拶

「第45回日本血管外科学会学術総会を開催します」

会長 広島大学大学院医歯薬保健学研究院外科学 末田泰二郎

第45回日本血管外科学会学術総会を2017年4月19日（水）から21日（金）まで広島国際会議場およびANAクラウンプラザホテル広島で開催します。例年より1～2カ月早い開催です。4月末には米国胸部外科学会（AATS）があり心臓大血管が専門の皆様はAATSに参加されます。5月の連休明けからは広島は蒸し暑くなり始め雨が降る日も多くなります。そこで例年より早い4月第3週の開催にさせていただきました。暑くも寒くもない一番いい季節です。外科学会が翌週に予定されており皆様には2週連続の学会となりますがご容赦下さい。広島国際会議場があります広島平和記念公園は原爆資料館が隣接し桜やさまざまな花の名所ですが残念ながら桜は散っています。代わりに新緑が芽吹き清々しい陽気に恵まれると思います。



今回のテーマは「進化するデバイス，深化する技術」としました。TEVAR，EVARを始めとするステントグラフト治療はデバイスの進化で大動脈瘤治療を根本的に変えました。特にEVARは対側レッグのないデバイスやタイプIIエンドリークを予防するシールデバイスやプラグが開発され腎動脈下腹部大動脈瘤は全例EVAR治療が可能になりそうです。一方で従来から行われている弓部大動脈瘤に対する弓部全置換術は手術成功率も脳梗塞発症率も低下しています。本邦発のオープンステントグラフトは逆行性大動脈解離や大動脈壁性状のよい嚢状弓部大動脈瘤など適応を選べば優れた治療法です。しかし，胸腹部大動脈瘤の外科治療は未だに最難関手術で対麻痺のリスクもあり手術死亡率も一部の施設を除くと高いままです。胸腹部大動脈瘤に対するデブランチTEVARも合併症が多く完成された術式とはいえません。本会では胸腹部大動脈瘤の治療戦略を大きなテーマにしたいと思います。末梢血管のステントも年々進化して膝上大腿動脈のレベルでは人工血管バイパスと遜色ない成績を上げています。膝下膝窩動脈バイパスでは優れた静脈弁カッターの出現でdistal bypassが糖尿病性下肢壊疽の患者を中心に各地で行われています。

しかし，血管外科の治療成績を向上させ手術症例数を増やしているのはデバイスの進化だけではなく，Z0ないしはZ1TEVARでは大動脈解離を起こさず脳梗塞のリスクを減らす手術の工夫やオープンステントでは緻密な症例選択と正確なステントグラフト留置による対麻痺予防の技術が進歩したためです。Distal bypassでも末梢側吻合時のno clamp遮断などの細かい手術技術の進歩が開存成績を向上させました。本学会では，これまでの血管外科のデバイスの進歩と技術の深化について振り返りつつ，近未来に向けて情報を発信できる会にしたいと思います。

春の広島は緑豊かで美しく食べ物も美味しいです。皆なで広島にきんさいや。

※第1次会告は次ページをご覧ください。

第45回日本血管外科学会学術総会会告（第1次）

第45回日本血管外科学会学術総会を下記のとおり開催いたします。

会員の皆様には多数のご応募、ご参加をお願い申し上げます。

第45回日本血管外科学会学術総会 会長 末田泰二郎

記

会 期： 2017年4月19日（水）～21日（金）

会 場： 広島国際会議場 / ANA クラウンプラザホテル広島

【広島国際会議場】

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5（平和記念公園内） TEL：082-242-7777

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>

【ANA クラウンプラザホテル広島】

〒730-0037 広島県広島市中区中町7-20 TEL：082-241-1111

<http://www.anacrownplaza-hiroshima.jp/>

会 長： 末田 泰二郎（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 外科学）

テーマ： 進化するデバイス，深化する技術；

Development of vascular device and progress of surgical procedure

プログラム内容（予定）：

調整中

詳細は学会ホームページおよび総会ホームページでご案内いたします。

■事務局

第45回日本血管外科学会学術総会 事務局

広島大学大学院医歯薬保健学研究院

応用生命科学部門 外科学

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3

TEL：082-257-5216 FAX：082-257-5219

E-mail：jsvs45@med-gakkai.org

事務局長：高橋 信也

（広島大学大学院医歯薬保健学研究院

応用生命科学部門 外科学）

総会ホームページ：<http://www.med-gakkai.org/jsvs45/>

（※総会 HP は9月からご覧いただける予定です。）

■運営事務局

株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

TEL：086-463-5344 FAX：086-463-5345

E-mail：jsvs45@med-gakkai.org



編集 日本血管外科学会 広報委員会

発行 特定非営利活動法人 日本血管外科学会

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4F

公益財団法人 日本心臓財団内

TEL：03-5989-0991 E-mail：jsvs@jhf.or.jp <http://www.jsvs.org/ja/>

制作 株式会社メディカルトリビューン